

第九回 帝國議會衆議院船舶檢查法案委員會速記錄

(第一號)

(八五)

明治二十九年三月十日午前十時三十七分開議
○委員長(西山志澄君) ソレデハ是カラ始メマスルガ、第一三船舶検査法案
ノ御審議ヲ請ヒマスルガ、其先キニ當ツテカラ御質疑ニナルナレバ十分ニ御

○(石塚重平君) 政府委員ニ大体ノ説明ヲ願ヒタイ、ソレハ從來ノ検査規則ニ於テ大体ハドウ云フ必要カラ、詰リ此改正ヲ要スル必要ハドウ云フモノデアリマスカ、其大体ヲ一ツ御説明ヲ願ヒタイ、而シテ後ニ外ノコトニ移ツテ戴キタイ

○政府委員佐藤秀顯君承知致シマシタ、此理由書ニモ大要ハ書イテ置キマシタシ、又貴族院ナリ、當院ノ第一讀會ニ於テ略ニ申述ベマシタ趣意ニ外ナラヌノデアリマス、要スルニ船舶検査ノ目的ト云フモノハ、生命ナリ財產ノ安全ヲ保護スルノガ第一デアツテ、今マテハ西洋形船舶検査規則ト云フモノガアリマシテ、名ノ通リニ、唯形ガ西洋風デアルモノヨリ外ニハ及ブコトガ出来ナイノデアリマス、ソレデ或ハ和洋折衷ト稱ヘテ間ノ子船ヲ造リ、又從前カラ日本形ト云フモノガアリ、二十年カラシテ五百石以上ノ日本形船ハ造ルコトガ出來ナイヤウニナツタデアリマスガ、併シ西洋形デアレバ、検査及諸般ノ制裁ガアルニ拘ラズ、日本形ハマルデ放任シテアルト云フ所カラ、目前ノ便益ヲ主トスルモノハ古イ船ヲモウドウシテモ壞ハシテ仕舞ツテ、用ニ供スルコトガ出來ヌト云フヤウナモノデモ鑑札ヲ賣買致シマシテ、新造スルコトガ出來ヌタメニ唯修繕シタト云フヤウナ名義デ以テ日本形船ヲ保存シテ置ク、ソレデ禁令ニナツテ居リマヌタメニ、殖エハ致シマセヌケレドモ、減リ方ガ甚ダ少ク、サウシテ外國ニ參リマスルカ、又内地デ長キ航路ヲ歩キマストカ云フトキニハ、西洋形デアリマスレバソレく制裁制限ガアルノデアリマスガ、日本形船ニハ及バヌタメニ、間ノ子ナリ、純然タル日本形ト云フモノハドコニ行ツテモ少シモ差支ナイ、ドウ云フ危險ヲ侵シテモソレヲ豫防スル、警戒スルト云フコトガ出來ナイノデアリマス、誠ニ其不取締モ甚ダシイ、從ツテ危険モ多イシ、生命財產ヲ保護スルト云フ黒ニ於テ非常ノ缺點デアル、獨リ其制裁ノ外ニアル日本形船ナリ、間ノ子船ニ止マレバマダシモデスケレドモ、サウ云フ無制裁ナ不取締ナモノガアルタメニ、一方ノ制裁ヲ受ケル方ニハ徒ラニ窮屈ヲ感ズルト云フヤウナ譯デ、一方ノ發達進歩ト云フモノモ從ツテ妨ゲガアルト云フ譯ニナルノガ第一ノ缺點ナノデアリマス、ソレデ検査ノ範圍ヲ擴メテ、百五十石以上ノ日本形船ニハ及ボサナケレバナラヌト云フ必要ガ起ツテ参リマシタ、ソレカラ從來検査ノ執行ト云フモノハ、汽船帆船ノ別ナシニ、六箇月若クハ十一箇月ト云フヤウニ規定シテアツタノデアリマス、效用モ多イ代リニ危険

モ甚ダ多イカラシテ六箇月乃至十二箇月ニ一回ノ検査ト云フモノガ必要デア
ル、ケレドモ帆船ハ其構造ガ御承知ノ通り甚ダ簡易デアリマスカラ、ソレ程
ニ繁クシナクトモ宜イノデアリマス、ソレデソレヲ汽船ナリ帆船ニ適當スル
度ニ改メルト云フ必要モアル、ソレカラ今迄雇入ノ外國船ト云フモノハ少シ
モ取締ハシナカツタノデアリマスケレドモ、均シク帝國ニ雇入レテ各港ニ出
入サセルト云フ以上ハ、即チ帝國ノ生命財産ヲ託スルノデアリマスカラ、之
ヲモ取締ルガ必要デアリマスシ、ソレカラ今迄ハ検査細則ト云フヤウナモノ
デ、假ニ不便ヲ除クタメニ假證書ノ制ト云フモノガアツタデスケレドモ、ソ
レハポンノ一時便宜ノ處分デアツテ、斯ウ云フコトハ極ク船主ナリ、又ハ貨
主ノ便宜ニ必要ナモノデアリマスカラシテ、法律デ規定シテ置ク方ガ宜イト
申立ヲサセル途ヲ開キマシタ、其邊ガ重ナル改正ノ點デゴザイマス
○(石塚重平君) 今一應伺ヒマスガ、是迄ノ検査法ニ依リマスト、西洋形ノ
ミデアルカラシテ今度ハ餘程ノ船數ガ殖エテ參ル譯デアリマス、此多分ナ船
舶ヲ検査スルニ當ツテドウシテモ検査所ト云フヤウナモノハ増設ニナルト考
ヘテ居リマス、豫メ其箇所、ソレカラ數、又ソレニ對スル所ノ費用ハドノ位
ノ增加ト云フ御考デアリマスカ、船ノ數モ殖エル所ガ、一寸御表ヲ御廻シニ
ナツテ居リマスケレドモ、是デハチト分リ兼ネマスガ、餘程ノ殖方ト思ヒマ
スカラソレモ併セテドウカ

○政府委員(佐藤秀顯君) 唯今迄ノ船舶ノ検査數ニ比較シマスルト、凡ツ五
千九百バカリ殖エルノデゴザリマス、所ガソレハ唯日本形船ガ殖エルノデア
リマスカラ、平均五千九百バカリノモノ、大キサヲ見マスルト云フト、平均
ノ大キサヲ見マスルト三百石計リニナツテ居ル、即チ頓數ニ致シマシテ三十
噸、サウ云フモノハ検査官ガ假リニ其船ヲ一箇所ニ纏メテ検査ヲスルト見レ
バ、日二十艘位ハ出來ル、ソレデスカラ其數デハ大變殖エルガ、検査ノ手數
ト云フモノハ案外ニ殖エナインデス、ソレデ新法ヲ施行致シマス前ト、施行
致シマス後トノ船舶ノ數ハ八倍七分八厘計リニナルノデアリマスガ、ソレヲ
検査致シマス人ハ、今日ニ比シテ倍數アレバ間ニ合フ見込ナノデゴザリマ
ス、ソレデ入費ハ御承知モアラツシヤル通りニ、本年度ハ船舶海員費ト云フモ
ノニ對シテ二十九年度ハデス……四萬六千百圓餘リヲ要求シテ、協贊ヲ得タ
ノデアリマスガ、ソレニ對シテ増スコト四萬千圓餘リデゴザリマス、經費ニ
對シテ殆ンド八割二分計リノ増シニナリマス、來年度ニナリマスト……ソレ
カラ検査所ノ數ハ只今四箇所、東京、大阪、函館、長崎ニアルノデゴザリマス、
本年度即チ二十九年度ニ支所トモ申スベキ出張所……支所トモ申スベキ場所
ヲ二箇所殖リテアリマス、來年度即チ三十年度ニナリマスト、又二箇

所カ三箇所ヲ加ヘル積リデアリマス
○(石塚重平君) 尚御問致シマスガ、是デ西洋形ノ船舶デアツテ、僅カナ大概大坂トカ、神戸トカ、長崎トカ、横濱トカ云フ所デ、大概出來ヤウト思ヒマスガ、日本形マデモ併セテヤルト云フコトニナルト、隨分船ガ散在シテ居リマス、是マデノ検査法ニ依ツテ見テモ、隨分熱田ニ於テ検査ヲ受ケル時ニハ東京カラ來ル検査官ヲ呼バナイデハナラヌト云フコトデ、隨分船渠ニ於テ數日ヲ經過シテ検査官ノ來ルノヲ待ツテヤルト云フ不都合ガアルト云フコトヲ當事者カラ聞イテ居リマスガ、此範圍ヲ大ニ擴メテ、各國ニ散在スル船ヲ一定ノ期ヲ極メテ検査ヲスルヤウニシナケレバナラヌト云フコトニ至ツテハ、隨分此二箇所、三箇所位ナ増設デハ到底足ラヌカト思ヒマス、ソレニ就イテ出張所トモ申スベキモノヲ各地ニ御置キニナルノデスカ

○政府委員(佐藤秀顯君) 今二三箇所ト申スノモ本年ノ二箇所ト申スノモ出張所ト申スヤウナモノデアリマス又當業者ハ西洋形船デアルナラバ、船渠ニ入レナケレバナラヌト云フノ手數モアルノデスガ、今ノ平均三百石位ノ船デアレバ、引ツ張リ上げテ濱デ検査ヲ受ケルコトガ出來テ、甚ダ構造ガ簡易デアルト同時ニ、検査ヲスルノモ仕易イノデアル、大キナ船ニナツテモ必ズ立派ナ船渠デナケレバ出來ナイト云フモノジヤナインデス、免ニ角當業者ニ今マデノヤウナもつこうナ船渠ヤ何カニ入レテシナケレバナラヌト云フヤウナ手數ヲ掛ケナクテモ、今度ノ検査ハ出來ルノデス、加之ナラズ今マデト云フテモ、サウ當業者ガ迷惑ヲスルト云フヤウナコトハ決シテナカツタノデ、熱田ニシロ、新潟ニシロ、又門司デモ、馬關デモ、自分ノ受ケタイ所ヲ届ケテ來マスレバ、検査官ガ何時デモソコヘ行ツテ見テヤルト云フコトニナツテ居テ、數ガ多クナルニ從ツテ、出張計リシテ居ルト云フノハ大變不便デアリマスカラ、サウ云フ船舶ノ數ノ多イ所ニハ、出張所ヲ置ク積リデアツテ、今度擴張ヲ致シマシタナラバ、今マデヨリハ一層便利ニナルダラウト思ヒマス

○(櫻井義起君) 本年度ニ置ク二箇所ト云フ御見込ハ何處デアリマスカ
○政府委員(佐藤秀顯君) 只今ノ見込ハ新潟ト熱田ニシヤウカ、馬關ニ致サウカ、只今詮議中デアリマス

○(櫻井義起君) 來年度ノ二三箇所ト云フノハ
○政府委員(佐藤秀顯君) 豫定ノ三十年ニ此法律ヲ施行致シマシテカラ置カウト云フ見込ノ場所ハ、中國筋ニ宇品、或ハ尾ノ道邊ヘ一箇所、ソレカラ門司、熱田ト此二十九年度ニ設置スル出張所ガ極リマスレバ、馬關或ハ門司ノ内ヘソレカラ小樽——北海道ノ方ハ小樽、ソレカラ神戸

○政府委員(佐藤秀顯君) 左様デス、ソレカラ横濱ニモ置カウト思ヒマス
○(阪田昌熾君) 是ハ貴族院デ第四條ガ這入ツタノデアリマスガ、是ハ政府ノ方デハ異存ナイト云フ譯デ、御承認ニナツタ譯デアリマスカ
○政府委員(佐藤秀顯君) 其積リデアリマスガ、一體貴族院ノ修正ハ、原案

ト變ルコトハ少ナイ、此航行期間モ汽船ニアツテハ六箇月ト十二箇月ト二ツニ分ツタノデアリマスガ、苟モ險春ナ船デアツタナラバ、三箇月位ニ限ラナケレバナラヌ必要モアルデスカラ——細則デハ、三箇月ノ航行期間ヨリ許サヌコトニナツテ居ルノデアリマス、現行デハ、ソレデ一番短カイノガニ箇月、一番長イノガ一箇年、汽船デハ帆船ハ六箇月、一番長イノハ三箇年ト云フコトニ貴族院デハ明記スル方ガ良イ、細則ニ讓ルノハ餘リ事柄ガ大キイノデアルカラ、寧口法律ニ規定シテ置ク方ガ明瞭デアラウト云フコトデアリマシタ
○(阪田昌熾君) 所ガニ箇月ト云フト、四箇月目ニハ破レヤウカト云フハ内洋デ許シテアル、外洋ノ方デハ三年位大丈夫ノ見込ノアル船デモ、一年ニ必ず一度試験ヲ受ケネバナラヌト云フ制限ハ、少シ酷デハナイカト私共ハ考ヲ起スデスガ、政府デハ是非一年ニ一度、ドンナ新ラシイ船ガ出來テモ試験ヲ受ケネバナラヌ、一年以上大丈夫ト云フコトヲ見込ト云フコトハ出來ナイカ、ドウデアリマスカ

○政府委員(佐藤秀顯君) 汽船ニ就イテハ無論一年ニ一度ハ検査ハシナケレバナラヌ、其シナケレバナラヌノハ今御話ヲ致シマスガ、詰リ汽船ノ方ハ機械ノ運轉ヲ始終シテ居リマスカラ、器械ハ完全シテ居リマシテモ、取扱ノ如何ニ依ツテ色々差ヲ生ジテ來ルコトデアリマス、詰リ船體ノ方ノ一部デ申スドウモ一年ニ少クモ一回ハ見ヌト云フト、何分保證ヲ致シ難イノデアリマス
○(阪田昌熾君) 安全瓣トカ何トカ云フモノヲ換ヘネバナラヌヤウニナルカラデスカ、追々新シク船ガ出來テ、三万噸トカ六万噸トカ云フ船ガ出來テモ、ソレデモ年々見ナケレバ、一年以上ハ見込ムコトガ出來ナイト云フ程ノコトハアルマイト思ハレマスガ

○政府委員(佐藤秀顯君) 是迄ノ経験ニ據リマスルト、取扱ニ依ツテ器械ガ新シクテモ、或ハ古クテモ取扱ガ惡イト非常ニ危險ナコトガ起ツタリ、且又新ラシキモノハ却テ二年、三年ノ間ハ、人爲ヲ以テ知リ難イ、内ニハドウ云フ傷ガアツタトカ云フコトガアリマシテ、却テ最初ノ間ガソノ様ナ事ガ多イカラ、心配デアリマス

○(阪田昌熾君) 保險ヲ附ケルヤウナコトハアリマスマイ、古イノニハ澤山アラウガ、ソレハ決シテ保險ヲスルト云フ程ノ危険ハアリマスマイ
○政府委員(佐藤秀顯君) 保險會社ト雖ドモ、汽船ニ就イテハドンナ立派ナ船デモ、一年ニ一遍検査シテ、最初検査シタキト同ジ形デアルカ、保險ノ度ハ今迄ノ通り維持シテ良イカ、モウ少シ安クシナケレバナラヌカ、高クシナケレバナラヌカト云フコトヲ見ルハ、營業上必要ナコトデゴザイマス、船体ヲ見テ三箇年位ト云フノハ、良帆船ニ就イテ必要デアリマス、汽船ノ一年ト云フノハ必要デアル、ドコデモ一年ニ一遍ハヤリマス
○(櫻井義起君) 總體ノコトデ御尋シマスガ、例ヘバ現今ノ検査官ニ一倍増シ、又費用モ一倍増スコトニナリマスカラ、世運ノ進歩ト共ニ船モ増スト云

フコトニ就イテモ、現在ノ検査手續ヨリモ尙便宜ナコトニナルデスカ、詰リ検査手續ハ現在ト同ジ方法ニ、詰リ船モ殖エルシ、人モ増スガ、現今ノ検査法ト同一ノ詰リ手續デ、今迄ヨリ敏捷ニナルト云フコトデナク、唯船モ増スカラ人モ増ス金モ増ス、是丈ノコトデ今迄ヨリ便ニナルトカ、不便ニナルトカ云フコトハアリマセヌカ

○政府委員(佐藤秀顯君) 敏捷ニモ致シマスシ、又再検査ト云フヤウナ船主ノ便宜モ開キマス、ソレカラ検査モ綿密ニ致シマス、サウシテ今日ノ現在船ニ就イテ豫算ヲ立テタ所ガ、先刻御話シタ通費用ハ八割二分許リ増ス、ソレカラ職員ハ凡ソ倍數デアルト云フ譯デアリマス

○(櫻井義起君) 同ジコトデハナイ、幾分カ検査手續ガ敏捷ニナツテ、船主ニ便宜ヲ與ヘルト云フコトニナルノデスナ

○政府委員(佐藤秀顯君) 左様デス

○(櫻井義起君) 今現在ノコトヲ聽クト、例ヘバ船渠ニ入レルト一日百圓掛ル所ヲ、ソイツヲ四五日モ掛レバ、日曜トカ何トカ云フ種々ナ故障ヤ様々デ五六日モ置カナケレバ營業ハ出來ナイノミナラズ、船渠ノ費用ヲ拂ハナケレバナラヌト云フノデ現在苦情ガアルヤウデスガ、彼苦情ハ今度ノ改正法デ取除ケルコトニナリマスカ

○政府委員(佐藤秀顯君) 唯今デモ空シク検査ヲ受ケルタメニ、船渠ニ入費ヲ掛ケテ待タセルト云フヤウナコトハ断ジテナイト云フコトヲ申上ゲルコトガ出來ルノデアリマスガ、此後ハ尙更サウ云フ懸念ハナイ筈デアル

○(櫻井義起君) 現在モナイト云フコトハ御斷定ガ出來ル位デアリマスカ

○政府委員(佐藤秀顯君) 左様デゴザイマス、日曜デアルカラ用ヲシナイトカ船渠ニ這入ツテ空シク四五日待タセルトカ云フヤウナコトハ今日デモナイ、當業者ハ詰リ放任シテ置イテ貰ウ程ノコトハナイノデ、利害ニ關スルノデアリマスカラ種々申スコトモナイシヤナイカ知レマセヌケレドモ、さつぱりソレハ根據ノナイ話デ、現ニ大坂アタリデハ夜デモ休暇デモ必ズ明日受ケルナレバ受ケル、今出帆スルカラシテドウゾ安全瓣ノ検査ヲシテ吳レト云フコトヲ謂ツテ來レバ、操リ合セノ出來ル限りハシテヤル、此後ハ尙更ニ其邊ノ注意ヲ綿密ニスル積リデアリマス

○(櫻井義起君) 今ヨリハ一層便ヲ與ヘルト云フノデスナ
○(阪田昌熾君) 一箇年ト云フ試験ヲシマスト、大概六箇月ニ一度船渠ニ這入ルトカ、八箇月ニ一度船渠ニ這入ルトカ云フコトデアリマス、八箇月ニ始メテ這入ツタキニ、若シモ航海ノ都合ニ依ツテ一年ニ二度這入ルナラバ、一度這入ツタ其時ニ、未ダ月數ガアリマスレバ受ケズニスル、二度目ニ船渠ニ這入ルトキハ一年航海ノ後ニナル、斯ウ云フコトガアルカモ知レナイカト思フ

○(政府委員(佐藤秀顯君)) 今マデモ期限内ニ船渠ニ入レルトキハ知ラセテ來ル、其時ニハ期限内ト雖モ能ク見テ、サウシテ八箇月ニ受ケタナレバ十二箇

月目ニ受ケタノト同ジコトニナルヤウニシテ、先キヘ検査期限ヲ延ベ航行期間ヲ長クシテヤルト云フコトニシテ居ル、船渠ニ入ルト云フノハ船ノ命ノ洗濯デアルカラ、其時其機會ハ決シテ外ヅサヌヤウニ船主モシテ居ル、検査官モ心得テ居リマス

○(阪田昌熾君) 其時ニハ期間ヲ改メテ、營業ノ期間ヲ先キヘ延バシテ往キマスカ

○政府委員(佐藤秀顯君) サウデス

○(石塚重平君) ソレデ是カラ後ニ検査ヲ受クベキ所ノ船舶ト云フモノモ、餘程今日ノ勢ヲ以テ推シマスルト殖エテ參ラウト思ヒマス、其邊ニ就イテハ大概一年ニ検査ヲ受クベキ船舶ノ増加スル高ト云フモノハ、ドノ位殖ヘル御見込デゴザイマスカ

○政府委員(佐藤秀顯君) 今年マデノ三五箇年ノ平均ヲ取ツテ見マスルト、

西洋形船テ五百噸以上ノ船ガ九艘デス、増シマスコトガ一年ニ——ソレカラ帆船ガ一艘ニ當ツテ居リマスノデ、其目安デ海員養成ノ方デモ人ヲ是カラ先キ増シテ養ハナケレバナラヌト云フコトニシテ居ルノデス、ケレドモ今申シマシタ其職員ノ増加ナリ、經費ノ増額ト云フモノハ、現在船ニ就イテノ御話デ、此後段々増シテ往キマスレバ、從ツテ入金モ増サナケレバナラヌガ、ソレハ此中ニ這入ツテ居マセヌ

○(石塚重平君) 是マデノ比較カラ見マスルト、是カラノ船舶ノ増加ト云フモノハ餘程多カラウト思フ、大坂商船會社ノ今ノ現在ノ所ニ據ルト十艘モ著手シテ、ソレカラ共榮社ナドト云フノガ參拾萬圓ノ資本ヲ百萬圓ニシタトカ、關西ニモ關西汽船會社ト云フモノガ資本百萬圓デ起ルトカ、其他宇和島汽船會社トカ云フモノガ續々起ルトカ云フコトデ、餘程殖エルト思フガ、ソレニ對シテハ是マデノ唯實際ノ増加ノ目安ニ依ツテ立案ヲシタノデ、是カラ進シニデ増加シテ行クト云フコトニ對シテノ御見込ト云フモノハ、今日ノ所デハナイト斯ウ云フノデアリマスカ

○(政府委員(佐藤秀顯君)) 先刻申シマシタ豫算ノ中ニハ這入ツテ居リマセヌ、素ヨリ船モ増シマセウガ、何シロ今日其推算致シマスルニハ、是マデ経過シタ統計上カラ割出スヨリ外ニ準據スベキ定規ト云フモノハナイモノデスカラ、ソレニ依ツテ調ベマスルト、今御話ヲシタヤウニ汽船デ九艘、帆船デ一艘ト云フヤウナ割合ニナツテ居ル、是カラ以後ノ船ニ就イテハ何レ船舶ノ獎勵法ノ結果ヤ何ニカデ段々増シテ參リマセウカラ、從ツテ検査官ノ員數ナリ、又船舶海員費ノ費額ト云フモノモ年々増サナケレバナラヌノデスガ、本案ノ結果トシテ三十九年度ニドレダケ増スカト云ヘバ、今御話シタヤウニ四萬壹千圓人ニシテ倍數、ソレナラバ間ニ合ウ積リデアリマス、是カラ先増シテ行キマスル船ニ就イテハ別デアリマスカラ、今ノ中ニハ這入ツテ居ラヌ

○(石塚重平君) 繰イテ伺ヒマスガ、此貴族院ノ修正デアリマスガ、如何デゴザイマセウカ、併ナカラ其精神ノアル所ハ御聽取リニナツテ居ラウト思

ヒマスガ、此第二條ニ於テ汽船ノ方ノ四種ニ分ッテ、帆前船ハ唯遠洋航海、近海航行トノ此二種トスル意味ニナツテ居ルヤウデスガ、之ヲ差支ナイト云

フ當局者ノ御見込^{デスカ}

○政府委員(佐藤秀顯君) 差支ナイ心得デス、衆議院ノ御意向ニシテ矢張貴族院ト同一デアルナラバ、ト申シマスルノハ、元ト四ツニ分ケテアツテ、帆

船ヲ—サウシテ第一條デ湖川其他靜穩ノ海上ヲ航行スル帆船ト云フモノハ、検査ヲ受ケルモノカラ除ケタノアツテ、實際ハ三種ニナツテ居ツタノデア

ル、所ガ、沿海航船ト云フヤウナモノニスルト、或ル區域ヲ限ッテ、ソレヨリ外ヘ出ルコトハナラヌノデアルカラ誠ニ窮屈デアツテ、汽船デアルナレバ

自分ノ思フ所ヲ限キラレテモ歩カレルノデアルカラ、ソレデ支エハナイ、又

サウ限コトハ必要デアラウガ、帆船ト云フモノハ風ニ依ツテ歩カナケレバ

ナラヌモノデアルカラ、成ルベクえらい不便利ノナイヤウニシタイ、ソレデ沿海航船ハ除イテ仕舞ツテ、サウシテ遠洋航船ト近海航船ノ二種ニシテ、近

海航船ト雖モ此法律ノ規定ニ依ツテ航路制限ト云フモノハ遞信大臣ガ定メル

ノデアルカラ、ソレデ近海航船ノ中ノ幾部分ヲ歩クト云フ船モ出來テ來ル譯

デアル、斯ウ二種ニ限ラレテモ、沿海航船ハ全區域ヲ歩クモノモアルガ、其一部分ヲ歩クモノモアル、ソレデ却テサウシテ置ク方ガ實際ニ適當ニテ宜カ

ラウト思フト云フ譯デ、此二ツニシタノデアリマス

○委員長(西山志澄君) 此遠洋航船、近海航船、沿海航船、平水航船ト云フ、此四種ノ區別ノ御説明ヲ願ヒタウコサリマス

○政府委員(佐藤秀顯君) 近洋航船ハ内外國ノ何處ヘデモ往ツテ宜イモノデアリマス、近海航船ハ支那ノ漢口カラ台灣ノ南ノ端、小笠原島、東索加ノ南

ノ端、樺太ノ北ノ端ヲ經テ黒龍江ノ海岸ニ至ル線内ヲ歩イテ宜イモノ、沿海

航船ハ内國ノ沿岸ノ或距離ノ間—近イ距離ノ間、又ハ内地ト離島トノ間ヲ特ニ航路ヲ限リマシテ、其間ダケヲ歩イテ宜イモノデアリマス、ソレカラ平

水航船ハ、湖水ナリ、河ナリ、其他靜穩ノ海上ヲ歩イテ宜イモノデアリマスガ、特ニ其航路ヲ矢張制限シテ其間ニ限ツテ航通スルコトノ出來ルモノデアリマス、其四ツデアリマス

○(橋本久太郎君) 唯今御説明ニナツタ材料ハ、何カ御控ヘニナツテ居リマスナラ、…

○政府委員(佐藤秀顯君) 此中ニアリマス

○(宮崎榮治君) 今御答ニナリマシタ區別ト云フモノハ、從來内定セラレテアリマスル通りデアリマセウカ、又追ニソレガ變ツテ往クモノデアリマセウ

○政府委員(佐藤秀顯君) 此航路ヲ制限スルコトデスガ、是ハ現今分ツテ居ルモノ、外ニ段々船モ殖エ、商賣モ發達シテ來マスレバ附加ヘテ區域ヲ殖ヤスト云フコトハ必要デアラウト思フケレドモ、今日ノ所デハ殊更ニ殖ヤサナケレバナラヌト云フ必要ハマダ認メテ居リマセヌ

○(宮崎榮治君) サウ致シマスルト、例ヘベ是迄ノ所デハ臺灣邊マデ往クニハ近海ト言ハナカツタガ、今日ハアノ邊マデ近海ト云ハナケレバナラヌト云フヤウニナツタト云フヤウニ進ンデ來テ居リマスカラ、是ハいつマデモ此通リニナツテ往クト云フ…

○政府委員(佐藤秀顯君) ツレハ遠洋航船ハ從前ノ外國航船ト稱ヘタモノデアリマス、ソレカラ近海航船ハ内國航船ト稱ヘ、沿海航船ハ近海航船ト云ヒ、平水航船ハ舊トカラ平水ト云ツタ、其名ヲ替ヘタノハナゼカト云ヘバ、日本ノ内國航船ト稱ヘル中ニハ、支那ヤ朝鮮ノソコニ書イテアル場所ヘハ歩ルカラタケレドモ、却テ臺灣ヤ何カニハ往カレナカツタ、内國ノ海テナカツタデ甚ダ内國航船ト云フノハ謂ハレナイ言葉デアルカラ、名ノ穩當ヲ求ムルタメニ寧ロ日本ノ近海ヲ航海スル船デアルト云フコトニスル方ガ宜カラウト云フノデ、内外國ノ諸港ニ交通シ得ベキモノハ即チ遠洋航船デアル、又今迄ノ近海航船ト云フモノハ即チ沿海ヲ歩イタモノデアルカラト云フコトデ名ヲ改メタノデアリマス

○(宮崎榮治君) サウ致シマスレバ、例ヘバ一寸見エマセヌヤウデスガ、外洋ト申シマシテモ朝鮮アタリノ方ヘ往ク船ニナリマシタナラバ、遠洋航船ニナリマスカ、先刻漢口ヨリ台灣ノ南端、見渡シノ所ニ係ハラヌ場所ガアルデゴザイマセウ

○政府委員(佐藤秀顯君) ツレハ船ノ大キサナリ、海上ノ景況ナリニ應ジテ、ソレ丈ノ所ハ近海航船ニ適當シテ居ル場所デ、安全ノ船デアレバ許シマス又

其處ニ書イテアル、區域ノ外ニ出ルモノナラバ遠洋航船デナケレバ歩カセナイ、安全ノ度ニ於テサウ云フコトニ致シマシタ

○(宮崎榮治君) 其時ニ朝鮮ノ仁川ニ通ツタト云フコトニナルト、漢江ノ線—香港ニ往クコトニナレバ遠洋航船ニナリマスカ

○政府委員(佐藤秀顯君) 左様デス

○(櫻井義起君) 尚御尋ネシマスガ、此貴族院デ追加シタト云フ朱書ノ四條ニ就イテハ既ニ阪田君カラ御尋ネニナツテ、原案者ハ検査細則デ是丈ノコトハ矢張實行スル見込デアツタガ、本條ニ現シタ方ガ宜イカラ貴族院ノ通リデ差支ナイト云フヤウニ、約メテ言ヘバ、先刻ノ御話ハサウナルヤウデアリマシタガ、此検査規則ト云フモノハ、獨リ日本バカリデナカラウト思ヒマスガ、

○政府委員(佐藤秀顯君) 是ハわきデモ區々ニナツテ居リマシテ、汽船モ旅客ヲ乗セル船ニ就イテハ強制ノ検査ヲ行ツテ居ル處ガ多イノデアリマス、荷船ニナルト任意ノ検査デ、検査法ト云フモノガアツテモ、ソレヲ強制シナイ、船長ナリ、又船主ナリ検査ヲ受ケタイト云フ者ハ、政府ノ検査ヲ受ケルト云フヤウニナツテ居ル處ガ多イ、トコロガ日本ノ現状ニ照シマスルト、ナカク生命財産ノ安全ヲ保護スルト云フ點カラ言ヘバ、任意ノ検査ナドト云フヤウナコトデハ、逆モ出來ル話デナインデアツテ、ドコ迄モ強制シナケレ

バ、現ニ今日迄日本形船ニ検査ガ及バナカツタタメニ粗製濫造ヲ極メテ、其弊害ハ延テ今ノ西洋形船ニマデ及ブト云フ位ノ有様デアルノデアルカラ、此検査法ハ、詰リ日本獨特ノモノデアルト、御承知下サル方ガ宜カラウト思フノデアリマス

○(櫻井義起君) サウスルト、要スルニ日本獨得ノ目下ノ事情ニシテハ、是ヨリモ延ベルコトハ詰リ當局者ハ出來ナイト云フ御意見ナノデスカ

○政府委員(佐藤秀顯君) 左様デス
編成ニナツタモノト思ヒマスガ、定メテ是迄ニモ検査細則ハ從來ヤツタコト

モアルト信ジマスガ、之ニ對シテ粗密、緩急等ヲ参考ノタメニ對照シテ見タ

イト思ヒマスガ、是マデ未ダ吾々ニハ御廻シニナリマセヌカ

○政府委員(佐藤秀顯君) 是ハ先刻モ皆サンニ御断リシタンデスガ、今度ノハ詰リ法律ガ極ツテカラデナケレバ、本當ニ細則其他ノモノハ出來ナイノ

デアリマシテ、全クコンナモノニデモシヤウカト思フ未定稿デアリマスカ

ラ、其積リデ御覽ヲ願ハナケレバナリマセヌ、其法律ノ規定ガ極リマシタ上デ、十分ノ審査ヲ盡シマシテ、ソレカラ確定スル積リデアリマス、ソコデ元ノ規則ト御對照ニナルノニハ茲ニゴザイマスガ、ケレドモ今御話シタヤウナ譯

デアルカラ、能ク御覽下サラヌト云フト、是ハ今日極ツテ居ルノデアリマスガ、こつちノ方ハ極ラヌノデアリマスカラ、ドレ程ノ差ガアルト云フコトハリニ適用スルモノデ今度ノハ幅ガ違ヒマス

○(宮崎榮治君) 一寸御尋致シマスルガ、茲ニ検査ヲ受ケナイモノ、種類ヲ御掲ゲニナツテ居リマスガ、或ハ海軍ノ艦、船、艇トカ、或ハ噸數十五噸未満トカ、若クハ積石數百五十石未満トカ、是等ノ取除ヲ立テマシタ制限ニ楷ヲ附ケマシタ如キ、或ハ海軍ノ艦、船、艇ノ内デモ人民ニ貸下ヲ致シマシタ場合ニハドウナルノデアリマスカ、又百五十石未満ノ帆船デゴザイマシテハ、ドウ云フコトニナルノデアリマスカ

○政府委員(佐藤秀顯君) 御答ヲ致シマス、海軍ノ艦船ト言ヘバ、無論海軍ノ商船ヲ扱フ所ノ者ノ與ル所デナイ、故ニ若シ貸附ケルト云フコトニナリマスレバ、ソレハ商船ニ變ツテ仕舞フノデアリマスカラ、無論海軍ノ艦船デハナクナルノデアリマス

○(宮崎榮治君) イヤ、其船質ハ變ラズシテ、使用丈ガ變ハル、例ヘバ此間ノ軍事費デ、海軍デ買上ゲタ船、アレハ實際所有ノ者ハ海軍デアリナガラナクナルノデアリマス

○政府委員(佐藤秀顯君) アレハ商船デス——海軍ノ艦、船、艇デナイモノハ検査ヲスルデス、今デモ現ニヤツテ居ル、ソレカラ遞信省アタリデモ官有船ガアリマスガ、ソレモ無論検査ヲスルノデアリマス、海軍ノ艦、船、艇ト

云フモノハ、軍艦デアルノデス、軍艦トカ水雷艇トカ云フモノデス、又十五噸未満、百五十石未満ノモノハ、是ハ誰ガ見テモ極ク分リ易イモノデアツテ、近イ所バカリヲ航行スルモノデ、検査ヲスル程ノ必要ハナイ、危険ガナイノデ除イタノデアリマス

○(宮崎榮治君) 積石數ガ百五十石ナクテモ、百四十石デモ、百石以上ノモノデモ、近海ノ朝鮮アタリ迄ハ行クコトガ無イトモ限リマスマイ

○政府委員(佐藤秀顯君) ソレハヤラナインノデス

○(宮崎榮治君) 百五十石以上デナケレバ、洋行船ハ航海ヲサセヌ、即チ近海航船アハサセヌト云フノデスカ

○政府委員(佐藤秀顯君) サウデス

○(天埜伊左衛門君) 現行ノ細則ト、此豫定ノ細則ト對照致シマスルト云フト、改正致シタト云フノハドノ點デゴザイマスカ、ソレト豫定ノ十條ト十一條ニ就イテ御説明ヲ願ヒタイ

○政府委員(佐藤秀顯君) ソレハ検査法ノデスカ

○(天埜伊左衛門君) 檢査法ノ十條ト十一條トニ就イテ、從前ノモノト對照スレバ、ドノ箇條ドノ箇所ガ改ツテ居ルカト云フコトヲ御説明ガ願ヒタイ

○政府委員(佐藤秀顯君) 檢査法デスカ

○(天埜伊左衛門君) 檢査細則ノコトデス

○政府委員(佐藤秀顯君) ソレハ先刻モ御断リヲシタ通誠ニ困ルデス、法律ガ極マラナイモノデスカラ、茲ニハ何ニモマダ極マツテ居ラヌノデ、唯腹稿ヲ御覽ニ入レタト云フダケデ、詰リ此法律デ遞信大臣ガ任セラレテソレカラ

捕ヘルノデスカラ、法律ガ極ツテ仕舞迄ハ何モ出來テ居ラヌ、併シドンナモノデアラウカト云ヘバ、斯シナモノデアラウト云フ位ノ積リデアリマスノデ、

審査ヲ經テカラデナケレバ、遞信省デモ詮議ガ纏マツタノデハアリマセヌ、幅ガ違ツテ居リマスカラ——元ノハ西洋形バカリデ、是カラ先キノハ凡ソ船

舶ハ積石數百五十石、噸數十五噸以上ハ皆視ルノデアルノデ、餘程違ツテ來ルコトハ違ツテ來マスガ、西洋形ノ手續ハサウ達ハヌデアリマス

○(天埜伊左衛門君) 定限ト云フ上ニ就イテハ餘程違ツテ居リマスカ次ノ法案ニ移リタイ

(「ドウカサウ願ヒマス」ト呼フ者アリ)

○(石塚重平君) 勿論是ハ豫定デアリマスガ、委員長カラ御尋ネヲシタトキハ御答ニナツテ居ルガ、趣旨ノ説明ニ至ツテ遠洋航船、近海航船、沿海航船、

河川其他靜穩ノ海上ヲ航行シ特ニ其航路ヲ定限シタルモノ、ソコデ今度出タ船舶検査法案ノ第一條三項ニハ即チ「湖川其他靜穩ノ海上ヲ航行スル帆船」斯

ウアル、ソコテ第一條ノ日本船舶ハ左ニ記載スルモノヲ除ク外、此法律ノ規定ニ依リ検査ヲ受ケベシト云フコトア、即チ検査ヲ受ケナクテ宜イ部類ノモガ書イテアル、是丈ハ即チ汽船ニ限ルト云フ譯デアリマスカ

○政府委員(佐藤秀顯君) 左様アアリマス

○(宮崎榮治君) 生命財産ノ保護ニ必要ト云フコトデアルカラ、丁度年度ノくぎリモ宜サソウト思ロマスガ、三十年ノ四月一日ヨリ施行スルト云フ譯ハ、何カ差支ガアルノデスカ

○政府委員(佐藤秀顯君) 是ハ日本形船舶ニ未ダ曾テアラザルノ規定デアツテ、十分假スニ時日ヲ以テシナケレバ當業者モ不慣レデアラウト思ヒマスカラ、若干ノ猶豫ヲ置クコトガ必要デアルト云フノト、夫カラ船舶検査法ノミナラズ、職員法ナリ、又懲戒法ナリ同時ニ行フモノデアリマスカラ、政府ノ方デモ豫算ノ協賛ヲ經テ、サウシテソレカラ人ヲ準備シ、ソレデ初メテ其各種ノ法律ノ實行ニ取掛リタイ積リノデアリマスカラ、四、五、六位ノ三箇月ハ其タメニモ入用デアル、旁々七月一日トシタノデス

(是ヨリ船舶職員法案ノ委員會ニ移ル)